

2012

Green Festival

入場無料



学校法人神戸学院創立100周年記念

第330回

10月13日(土) 15:00 開演

● コーラ・イルゼン ピアノ・リサイタル

第331回

10月27日(土) 15:00 開演

● ペルシャ音楽の午後

出演 プーリー・アナビアン バラム・サーランギ エスィ・テヘラニ 谷正人 河村真衣
ダリア・アナビアン

第332回

10月28日(日) 14:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学管弦楽団 第18回定期演奏会

指揮/松井隆司

第333回

11月7日(水) 17:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● DIVEプロデュース 演劇公演『オダサク、わが友』

作:北村 想 演出:深津篤史(桃園会)

第334回

11月17日(土) 15:00 開演

● 鈴木華重子(ピアノ)

田中美奈(ヴァイオリン) トリオの午後

金子鈴太郎(チェロ)

— ベートーヴェン ピアノ・トリオ全曲連続演奏 第4回 —

第335回

12月1日(土) 15:00 開演

● 仲道郁代 ピアノ・リサイタル

第336回

12月8日(土) 15:30 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学混声合唱団パンドラ 第25回記念定期演奏会

客演指揮/西牧 潤 北井春花 学生指揮/北岡龍之介

第337回

12月15日(土) 15:00 開演

● 長谷川陽子(チェロ)

仲道祐子(ピアノ)

デュオの午後

第338回

12月23日(日・祝) 14:30 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学学生放送局 第35回放送祭『FAKE』

会場/神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

●お申込方法

往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。

- ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
- ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
- ・ 返信裏面は空白のままにお願いします。
- ・ 1枚につき1公演、1名様のお申し込みになります。
- ・ 受付期間は各公演の1ヶ月前～2週間前(必着)です。
- ・ (※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
- ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

～個人情報の取扱いについて～

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限って使用します。

●お申し込み・お問い合わせ先

〒650-8586

(この郵便番号を使うと住所は省略できます)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係

電話078-974-6105 (担当部署: 社会連携グループ)

●交通経路と所要時間

- ① JR「明石」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約20分)
- ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より神姫バス「神戸学院大学経由明石駅行」に乗車(約10分)
- ③ JR「朝霧」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約10分) (注) 運行本数少
お車でのご来場は固くお断りいたします。

関西から



ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5〜9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常にレベルの高い、また一般の催しとは一味違う公演を企画しており、その独自性が高く評価されています。

コーラ・イルゼン ピアノ・リサイタル

- 曲目 ● シューマン …… 子供の情景 作品15 ● リスト …… メフィスト・ワルツ 第1番
- ブラームス …… 4つの小品 作品119 ● マリー・ジェル … 誘惑と5つの憂鬱なワルツ
- マリー・ジェル … 地獄で聞くもの/煉獄で聞くもの/天国で聞くもの ● リスト …… 死の舞踏
- リスト …… 愛の夢 第3番

申すまでもなく、知名度はそれほど高くないが実力的にすばらしい演奏家がたくさん居ます。神戸市室内合奏団と二度ほど協演された彼女を聴いてそんなひとりと確信しました。ドイツのラインラント出身。近年はリストに力をいれておられる由。初めて名前を聞いたマリー・ジェルはリストの恋人のひとりであったピアニスト・作曲家とのこと。

ペルシャ音楽の午後

繊細で優雅な響きを持つサントゥールをご存じですか。古より聖書で尊ばれ、ピアノの祖先と言われるサントゥールは、ヨーロッパの旋律にない微妙な音程で豊かな表現ができる楽器です。その原点はペルシャの豊かな自然界。瑠璃色の空に鳥が舞い、恋人を迎えて待つ花々。ペルシャでは、鳥と花がベアーと考えられ、鳥が届ける囀りに花は芳香を放つ。その愛の表現を旋律にしたのがサントゥールですが、これに歌も加えて、接する機会の少ないこの地域の音楽をグリーン・フェスティバルで初めてご紹介します。人文学部で教鞭をとる谷さんは楽器を扱うのはもちろん、この地域の音楽の研究者であり、出演者のひとりアナビアンさんのお嬢さんと共にいろいろな解説をしてくださることになっています。

神戸学院大学管弦楽団 第18回定期演奏会

指揮 / 松井隆司

- 曲目 ● E・エルガー …… 行進曲「威風堂々」作品39 第1番ニ長調 ● ドヴォルザーク … 交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」
- チャイコフスキー … バレエ組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」

ドヴォルザークの「交響曲第9番『新世界より』」はニューヨークの国民学校の校長としてアメリカにいる時に新世界からのみやげとして従来からのボヘミア音楽と故郷への郷愁の念を込め、書かれています。またニ長調という明るい調性の「威風堂々」、ハーブ奏者の方を特別にお招きすることにより演奏が実現した「くるみ割り人形」より「花のワルツ」を演奏します。今回演奏する曲はCMなどで、みなさんにもなじみのある曲ばかりですので、ぜひお楽しみください。

DIVEプロデュース 演劇公演『オダサク、わが友』

作：北村 想 演出：深津篤史（桃園会）

『オダサク、わが友』は、NPO法人大阪現代舞台芸術協会（DIVE）、すなわち関西小劇場の役者たちのために、北村想さんが書き下ろした群像劇です。昨春、大阪吹田メシアターで初演されました。演出は、地元大阪だけでなく東京でも大活躍の深津篤史さん。タイトルの「オダサク」とは、もちろん大阪が生んだ小説家、織田作之助のことです。そのオダサクと映画監督川島雄三の友情を軸に、太宰治、坂口安吾など多彩な人物が登場し、大阪がほんとうに大阪らしかった時代を描きます。

鈴木華重子・田中美奈・金子鈴太郎 トリオの午後

- 曲目 ● ベートーヴェン … ピアノ三重奏曲 第8番 変ロ長調 Wo.039 ● ベートーヴェン … ピアノ三重奏曲 変ホ長調 作品38（七重奏曲 作品20からの編曲）
- ベートーヴェン … ピアノ三重奏曲 第11番 ト長調 作品121a（「仕立屋カガク」による変奏曲）

連続演奏の4回目。中期の作品ながら10歳の少女のために書かれたため、ごく簡潔にまとめた短い作品と、作曲者が得意とした変奏曲、それに作曲者の生前では最も人気があった作品のひとつで、お馴染みのメロディが出てくる七重奏曲からの編曲をお楽しみください。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ● ベートーヴェン … ピアノソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」 ● ベートーヴェン … ピアノソナタ第32番 ハ短調 作品111
- ドビュッシー …… 月の光（「ベルガマスク組曲」より）/アラバスク第1番、第2番/グランド・アド・バルナッサム博士、人形のセレナーデ、ゴリウヅのケークウォーク（「子供の領分」より）/アナカプリの丘（「前奏曲集第1巻」より）/雨の庭（「版画」より）/喜びの島

前半は全曲演奏が終っても、引き続き繰り返して演奏しておられるベートーヴェンから前期と後期の秀作をハ短調でまとめ、後半は生誕150年の節目に当るドビュッシーをたっぷり。全く傾向の違う2人の大作曲家を如何に弾きわけるか…興味津々のプログラムで28回目のグリーン・フェスティバルへの登場です。

神戸学院大学混声合唱団パンドラ 第25回記念定期演奏会

客演指揮/西牧 潤 北井春花 学生指揮/北岡龍之介 ●男声合唱 ●パンドラOB・OG合同ステージ ●学生指揮:ジブリ特集

私たちパンドラは「歌を愛し、楽しむ」をモットーに日々活動しています。合唱団としては少人数ですが、だからこそ息の合った演奏が生まれるのだと思います。パンドラの前身であるグリークラブが創設して25年を迎えました。その記念にグリークラブOBとのステージ、パンドラOB、OGとのステージを企画しました。学生指揮では皆さんに親しみのあるジブリ曲集から選びました。ぜひ、お越しください。

長谷川陽子・仲道祐子 デュオの午後

- 曲目 ● ラフマニノフ … チェロとピアノのためのソナタ ト短調 作品19 ● カサド …… 親愛なる言葉
- J.S.バッハ … シャコンヌ〈無伴奏チェロ版〉 ● ベートーヴェン … ピアノソナタ 第14番嬰ハ短調 作品27-2「月光」〈ピアノソナタ〉（無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より） ● プロート …… カルメン幻想曲

ラフマニノフの曲はチェロ・ソナタの歴史においても光っている1曲でしょう。ピアノにも相当の比重がかかっています。バッハは陽子さんが最近よくとりあげておられます。このヴァイオリンの名曲がチェロではどう聴こえるでしょうか。プロートの曲はタイトルの通り、お馴染みのメロディが次々と現れます。このコンビの出演は6年ぶりです。

神戸学院大学学生放送局 第35回放送祭『F A K E』

今年のテーマは『FAKE』。今年度は多くの新メンバーを加え、更にパワーアップしています。放送祭では、そんな学生放送局のメンバー一同が創る「偽りの世界」を是非ご堪能ください。

出演者の希望で曲目が変更されることがあります。ご了承ください。